

早稲田アカデミー	5年							
	算数							
学習内容	17回　いろいろな立体の求積 18回　いろいろな速さの問題 19回　総合（予習シリーズ5年㊦　第16～第18回）							
家庭学習 ポイント	1月は第17回「いろいろな立体の求積」、第18回「いろいろな速さの問題」です。19回は総合回で濃度計算も含め割合、速さ、立体図形の問題と、5年生の算数でも最重要の3分野を復習し、学年最後の組分けテストに臨みます。第17回「いろいろな立体の求積」では、立方体を積み上げた図形の見取り図、投影図から体積や表面積を求める問題が出てきます。注意深く図を見て「立方体がない部分」なども判別できるようにしておきましょう。また円すい台や円柱の積み上げなども、とにかく正確に計算する作業力が求められます。計算力はもちろん、できるだけ間違わずに計算するための工夫といった「技術」もしっかり身につけていきましょう。「スライス解法」と呼ばれる解法や立体のくり抜きに関する問題などは、独特の技術を理解して身につける必要があります。特に難関校を志望するお子さんは必須の考え方になります。また「いろいろな速さの問題」では、速さに関する様々なバリエーションの問題を学習します。こちらも特に難関校狙いのお子さんにとっては重要です。							
課題の把握と解決策	チェック1	体積や表面積を出す際、ミスを連発していませんか？						チェック
	解決策	やり方が分かっても答えが合わないモチベーションが下がります。計算の工夫なども使いましょう						□
	チェック2	「スライス解法」をマスターしていますか？						チェック
	解決策	立体に穴を開けたり上面、側面からの見え方から考える問題では必須の「1段ずつ考える」方法です						□
	チェック3	柱体の側面積を考える際「底面のまわりの長さ×高さ」を使っていますか？						チェック
	解決策	これを習慣づけると複雑な形の柱体でもミスが少なくなりますね						□
	チェック4	速さと時間の逆比を使いこなしていますか？						チェック
	解決策	速さの問題ではもっともよく使う技術ですね						□
	チェック5	「冬休みに復習、マスターしたかったこと」はできましたか？						チェック
	解決策	1月の組分けテストまでには解決しておきたいですね						□
早稲田アカデミー	5年							
	国語							
学習内容	17回　説明文・論説文(10)／説明文・論説文の読解総復習　文と文の関係④ 抽象と具体／四季の言葉（秋・冬） 18回　随筆文(7)／随筆文の読解総復習　文と文の関係⑤ 換言と対比／暦の知識 19回　総合（予習シリーズ5年㊦　第16回～第18回）							
家庭学習 ポイント	読解は「説明文・論説文」「随筆文」が各1回と総合回です。論説文では話題と結論部から要旨を把握し、随筆文では随筆の読解の総復習を行います。知識は四季の言葉（秋・冬）、そして暦などについても学習します。17回「説明文・論説文(10)」の回は、説明文・論説文の読解の総復習です。あらためて論説文の読解技術を思い出し、書いてあることを制限字数内でまとめて答える、要約する力を養いたいところですね。文章中の言葉を使って答える問題は、入試をはじめとしたテストに出題されやすいので、しっかり身につけておきたいですね。知識分野は「四季のが言葉（秋・冬）です。俳句の季語としてだけでなく、物語文などの読解、また理科社会など他教科の学習にも関連する分野ですね。18回「随筆文(7)」も同じく随筆文の読解の総復習になります。こちらもあらためて知識の総括を行った上で、学年最後の組分けテストに臨みましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	論説文において「今読んでいる部分は文章全体に対してどのような役割か」を考えていますか？						チェック
	解決策	上記を意識できると、文章を通して筆者が言いたいことがわかるようになります						□
	チェック2	論説文の要約がうまくできますか？						チェック
	解決策	筆者の考えが述べられた文から「中心文」をさがし、それらをつなげてみましょう						□
	チェック3	「随筆文の読解のポイントは」と聞かれたら説明できますか？						チェック
	解決策	「事実と意見読み分ける」といった内容がわかっていればいいですね						□
	チェック4	語彙を増やす努力をコツコツ続けていますか？						チェック
	解決策	類義語や対義語なども、ご家庭の会話の中で積極的に使うといいですね						□
	チェック5	語句の学習では、そのものを覚えるだけでなく「シチュエーション」を意識して覚えていますか？						チェック
	解決策	どのような場面でどのようなニュアンスで使われるかを意識して記憶しましょう						□

早稲田アカデミー	5年							
	理科							
学習内容	17回 太陽の動き 18回 太陽と地球 19回 総合（予習シリーズ5年㊦ 第16回～第18回）							
家庭学習ポイント	17回「太陽の動き」18回「太陽と地球」では、地球位から見える太陽の動き、そしてその原因となる地球と太陽の位置と動きの関係を学びます。19回は総合回で、16回の「電流と磁界」の復習も含まれています。地学分野についてはつけておくべき知識が多いですが、単なる「丸覚え」にならないよう「理解」「納得」を伴った学習を続けていきましょう。1日、1年の太陽の動きを理解するには、まず実際に太陽がどのように観測されるか（東の地平線から昇って南中し、西の地平線に沈む）を理解し、その原因となる地球の自転や公転を理解する必要があります。この理解なくして暗記で乗り切ろうとすると、覚えるべきことが多すぎて破綻します。各季節の太陽の南中高度の求め方、昼の長さの求め方など「公式」のようなものが存在する分野についても、公式を丸覚えするのではなく「90度からその土地の緯度を引く理由」「23.4度をたす（引く）」理由を自分で説明できるようにしておくことが重要です。この学習方法は、月や星の動きなど他の天体分野でも同様です。							
課題の把握と解決策	チェック1	日の出、日の入りの「定義」を説明できますか？						チェック
	解決策	いずれも「太陽の上のはしが地平線と重なったとき」ですね						□
	チェック2	太陽の南中時刻、南中高度を正しく求めることができますか？						チェック
	解決策	いずれも「公式丸覚え」ではなく「なぜその式で求められるか」を説明できるようにしましょう						□
	チェック3	日本で観測する皆既日食は太陽のどちら側から欠けるか、説明できますか？						チェック
	解決策	右からですが、これも覚えるだけでなく模式図を理解、模式図から説明できることが重要です						□
	チェック4	地球上の位置が変わると日の出、日の入りや南中の時刻が変わることが理解できていますか？						チェック
	解決策	日本国内の移動でも数十分単位で変化します。帰省や旅行で確認してもいいですね						□
	チェック5	「冬休みに復習、マスターしたかったこと」はできましたか？						チェック
	解決策	1月の組分けテストまでには解決しておきたいですね						□
早稲田アカデミー	5年							
	社会							
学習内容	17回 大正時代 18回 昭和時代（1） 19回 総合（予習シリーズ5年㊦ 第16回～第18回）							
家庭学習ポイント	1月は17回「大正時代」、18回「昭和時代（1）」を学習し、範囲としては世界恐慌から敗戦までの道筋となります。四谷大塚のカリキュラムでは、2月から公民の学習に入ります。（5年生の歴史学習が「昭和時代（1）」で終了しているので、2月の第1回は「昭和時代（2）」と思われます）その後も合間合間で歴史の復習が行われるとはいえ、ある程度、冬期講習中に歴史全般について固めることができていないと、6年の夏以降の過去問演習の際に支障をきたします。また、1月に学ぶ大正～昭和史は、第2次世界大戦までの激動の時代となります。今まで以上に覚えるべき情報量が多く整理と暗記が大変ですがまずは1月中に昭和時代の前半までをしっかりと押さえ、6年生に臨みましょう。中学受験での戦後史の出題頻度は、決して低くありません。可能な限り、大人の解説やフォローを得ながら、時代についての理解を深めていきましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	大正時代の学習の3つのポイントが整理できていますか？						チェック
	解決策	①第一次世界大戦②大正デモクラシーと文化③世界恐慌（第二次世界大戦へ）を軸に整理しましょう						□
	チェック2	社会の家庭学習の時間配分を、この時期やや増やしていますか？						チェック
	解決策	覚えるべきエピソードが非常に多い時代が続きます。特にこの時期、やや多めの時間を割きましょう						□
	チェック3	戦前から戦争終結までの「流れ」をしっかりと理解して学習していますか？						チェック
	解決策	1年毎に事件がおこり、同じ年に複数の事件が起こるのもこの時代ならではの						□
	チェック4	ルーティンの学習に地理を組み込んでいますか？						チェック
	解決策	特に地理が苦手だったお子さんは、長期間放置すると大変です						□
	チェック5	歴史学習の「スタイル」を確立できていますか？						チェック
	解決策	明治時代以降こそ「因果関係で流れを掴む」学習法が効果を生み出します						□